2026 年度 第 1 回 教育課程編成委員会 議事録

1) 日　時: 2026年 10 月 28 日(水)　15 時 00 分～16 時 00 分

2) 場　所: YIC ビューティモード専門学校　本館 5 階 502 教室

3)出席者

教育課程編成委員

山村　朋之　様	(株式会社ライブス　代表取締役社長)
佐竹　章宏　様	(山口県美容業生活衛生同業組合　理事長)
保多盛　栄　様	(スタート美容室 代表)

本校教職員

河津　道正	(校長)
千村　希人	(副校長)
三船　龍	(事務長)
大宮　友美子	(教務課長)
蔦濱　友子	(教務係長)

【議事】

1. 校長あいさつ

教育課程のあり方そのものへの協力依頼に加え、社会人としての基礎力養成、ならびに出席率基準厳格化をはじめとする教育品質向上に向けた基本方針についてあいさつがあった。

2. 美容学科の取り組みについて、学科概要

(1) 学科概要・学生状況【資料 1】

・10 月 1 日現在の在籍数は、1 年 59 名、2 年 56 名の計 114 名(総定員 120 名に対し 1 学年 60 名体制を維持)。

・1 年で退学 1 名が発生し、在籍数の修正が共有・報告された。

(2) 検定実績と指導対策

・【1 年次の検定結果】

o パーソナルカラリスト検定 3 級:今年度実績 74.1%で推移している。

o JMA メイクアップ技術検定試験:93.1%を達成(目標 100%に対し未達)。

o リーリスト検定 3 級:実施直後であり、現在結果判定待ち。

o ビューティービジネス実務検定:11 月 9 日に実施予定。

・【2 年次の検定結果】

o ヘアケアマイスタープライマリーコース:70.3%(前年度と同水準で推移)。

o パーソナルカラリスト検定 2 級(任意):7 名受験中 5 名合格(合格率 71.4%)。

o JMA メイクアップ技術検定 2 級:台風の影響による日程変更のため、10 月 29 日に実施予定。

o ジェルネイル検定初級・まつげエクステンション検定:合格率 100%を達成。

・【指導改善の方向性】

o カウンセラーカレッジ検定 3 級は全国平均を上回ったが、更なる底上げを推進する。

o 朝学の活用に加え、パーソナルカラー対策として模擬試験を今後 2 回実施する方針。

o 検定合格率向上のため、担当講師への授業改善打診および受検意欲を高める指導を徹底する。

(3) 就職内定状況【資料 2】

・内定状況:10 月 20 日時点で、2 年 56 名中 49 名が内定済み(内定率 87.5%)。

・職種傾向:美容師が中心でヘアメイク等への就職もある一方、ブライダル関係の就業希望は減少傾向。

・地域傾向:県内就職と県外就職はほぼ拮抗しているが、県外志向がやや強い傾向も見られる。

・課題と対策:就職活動の早期化に伴い、早く決めすぎることで内定辞退が発生するリスクを懸念。企業研究をしっかりと行わせた上で納得感のある就職活動を進めさせる方針。

(4) コンテストおよび受賞結果

・山口県美容技術コンクール:1・2 年が参加し、団体で優勝・準優勝を含む成果をあげ、個人でも入賞者を多数輩出。

・SPC スタイリングコレクション中国大会:ワインディング部門にて準優勝および入賞を果たした。

・全国理容美容学生技術大会(中国地区大会):まつげエクステンション、ネイルアート、フォトコンテスト等の各部門に参加・受賞。

・全国大会出場:11 月 11 日に岡山県で開催される全国大会に 4 名が登録・出場予定。

（5）地域連携事業の取り組み

・ボランティア活動・地域イベント：山口祇園祭りの女神輿において、従来のメイクに加え今年度はヘアアレンジも担当。

・その他連携：小学校学童仮装イベント、阿知須キッズイベント、宇部まつり等でのキッズヘアアレンジ・メイク・ネイル等に参加・実施。

・効果と狙い：地域社会との直接的な接点を通じて、学生の責任感醸成と実践的技術の定着を図る。

（6）後期行事計画・企業説明会・インターンシップ

・企業研究・説明会：9 月 24 日（株式会社トーコン主催）を筆頭に、11 月 30 日、12 月 21 日、2 月 8 日に企業説明会を予定。今年度より各社 1 社ずつのライブ説明会を組み込み、年間行事として定着化。

・インターンシップの運用改善：1 年次のインターンシップは、11 月に希望サロンアンケートを実施し、12 月にサロン研究を踏まえた振り分けを行う。従来的な学校主導一辺倒を改め、学生の適性と希望を重視する方式に転換。

・情報リテラシー指導・SNS 運用：10 月 2 日に情報リテラシー講義を実施（年 2 回：4 月・10 月開催予定）。2026 年度より校内での「BeReal」（ビーリアル）の撮影・投稿を禁止とし、マナー指導を徹底。

・外部講師講義（2027 年度計画）：多様性理解、SNS 活用、交通安全、救命救急、年金制度等の外部講話を年間計画として組み込み、社会人基礎力を養う。

（7）教育課程の変更・出席率管理・ミスマッチ防止対策【重要方針】

・教育課程表の変更：専門教育課程の「カットクリエイティブ演習」「トータルビューティー演習」の扱いを変更。1 年次は 1 単位として後期 1 月より授業開始（合計 4 単位・120 時間）。総合計 67 単位・2010 時間で総単位数に変更なし。

・コース選択見直し（ミスマッチ防止）：1 年次のコース選択は、事前に両コースの実習を体験させた上で 11 月に決定し、1 月より授業開始とする。十分な理解を経て選択させることでミスマッチを解消する。

・出席率基準の厳格化（80％未満対応）：出席率 80％未満の学生は本試験を受験不可とし、補講完了後に再試験を受験させる運用を今年度より厳格化（グループ校の他学科とも共通運用）。学生自身による単位・欠席状況の「見える化」を進め、社会人としての基本習慣の定着、欠席抑止、および国家試験合格率向上を目指す。

・国家試験対策の徹底：朝学・授業態度の徹底に加え、空間認識能力を高めるヘアデッサンの授業（日本理美容教育センター教材使用）を導入。将来的には学生技術大会ヘアデザイン部門への応募も視野に入れる。

3. 委員からの主な意見・質疑応答

・就職活動・説明会のあり方：多人数一斉の合同説明会よりも、学校ごと・企業ごとの個別開催の方が学生にとって機能的である。早期化する就活に対しては、流されることなく企業研究を深めさせることが重要である。

・出席管理と習慣づけ：「学生時代に体質を作っておかないと社会に出てから急には対応できない」とし、出席率 80％基準の厳格化は職業人としての土台づくりや現場定着率向上において極めて意義深いと賛同が得られた。

・SNS 利用と環境整備：校内での「BeReal」撮影・投稿禁止や情報リテラシー教育は、学習環境の維持や卒業後のトラブル防止の観点から適切な対応であると支持された。

・専門学校教育の価値訴求：「専門学校の 2 年間は免許を取るためだけの 2 年間と考えてほしくない」として、資格取得のみならず人間力や社会人準備としての学びの価値を高校生や保護者に正しく伝えていく必要性が示された。

4. 次回開催

次回教育課程編成委員会の開催は、2027 年（令和 9 年）3 月 24 日（水）15 時 00 分を予定している。